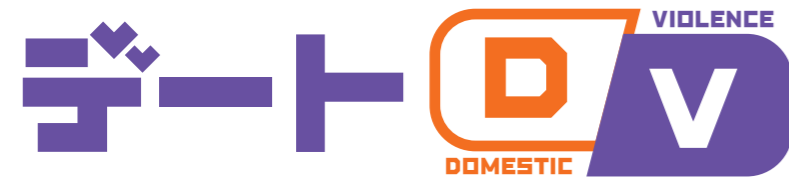


知っていますか?

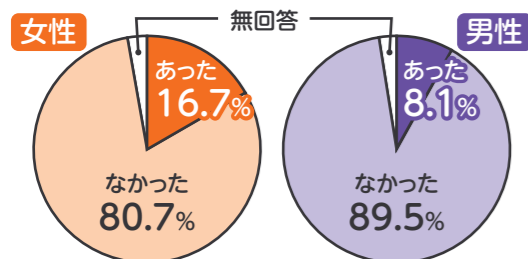


With You さいたまでは職員が県内の中学・高校・大学等へ出かけ、「知っていますか? デートDV」と題する課外授業を行っています。被害者にも加害者にも、そして傍観者にもならないためにはどうしたらよいかを問いかけながら「対等な関係」について考えます。今つきあっている人がいない場合も、一緒に考えてみてください。

I 「デートDV」ってなんですか?

交際相手からの暴力を「デートDV」といいます。令和2年度の「男女間における暴力に関する調査」によると、交際相手がいいた(いる)女性の16.7%、男性の8.1%がデートDVを受けた経験がありました。同性カップルの間でもデートDVはあり、誰もが被害者にも加害者にもなる可能性があります。あなたが思っている以上に、暴力は私たちの身近なものなのです。

交際相手からの暴力の被害経験



出典：内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査報告書」(令和2年度調査)

「暴力」と聞くと、自分には関係がないと思うかもしれませんが、でも、殴る・蹴るなど身体に対するものだけではなく、交際相手に「他の異性と会話をするな」などと命令したり、スマートフォン(携帯電話)の着信履歴やSNSのチェック、交友関係や行動の監視など、相手の気持ちを考えずに自分の思いどおりにしようとする態度や行動は、すべてデートDVです。

交友関係や行動の把握も、初めは「好きだから」「心配だから」という理由で行われ、「愛されている証」と受け取られることが多いですが(「ラブラブ期」)、行動制限や監視といった暴力のひとつです。そのうち、つねに相手がイライラしているような【蓄積期】が訪れます。被害を受けている側はいつも相手の顔色をうかがうようになり、自分を責めたりするようになります。そして、何かのきっかけで暴力をふるわれる【爆発期】が起きます。ただ、この後に加害者が「もう二度としない」と謝ったり、優しくふるまったりすることで再び【ラブラブ期】に戻ります。デートDVはこのサイクルを繰り返しながら、その周期が徐々に短くなり、暴力もストーカー行為や暴行・傷害へとエスカレートする恐れがあります。

交際相手との間でこんな経験はありませんか?

精神的暴力

- 思い通りにならないと不機嫌になる
- 人格や外見を否定する
- 暴言を吐く ●怒鳴る ●見下す
- 何事にも「お前のせいだ」と言う
- 無視する ●殺す・死ぬと脅す
- 大切にしているものを壊す
- 長時間説教する など

経済的暴力

- デート費用をいつも払わせる
- 貸したお金を返さない
- 別れるならこれまでのデート代を払えと言う
- 自分の経済力を使って言うことを聞かせようとする など

身体的暴力

- 殴る・蹴る
- 物を投げつける
- 首を絞める
- 髪を引っ張る
- 壁に押し付ける
- つねる・噛む
- 突き飛ばす など



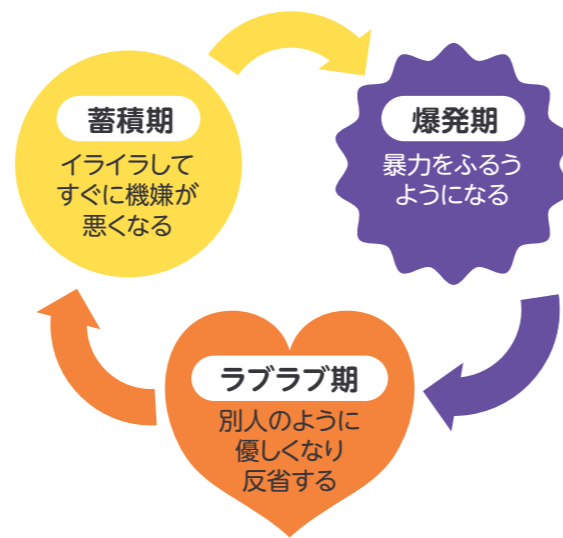
性的暴力

- 嫌がっているのにキスをしたりセックスをしたりする
- 避妊に協力しない
- 性的嗜好を押し付ける
- 裸やセックス中の写真・動画を撮る(撮りたい・送ってほしいと要求する) など

このような経験があるときは、気づかないうちにデートDVを受けていたり、相手の気持ちを傷つけていたりする可能性があります。



今どこ? 誰といる!? すぐ返事して!



DVサイクル

(※すべての人にあてはまるわけではありません。)

II 「デートDV」が起こるのはどうして?

デートDVは右にあげるような意識の影響が大きいと思われまます。このような意識は多かれ少なかれ(無意識にではあっても)、誰もが持っているのではないのでしょうか?だからこそ誰にでも起こり得るものなのです。

どのようにつきあったらよいの?

嫌なことには「No」と言い、互いに違いがあることを認めあえるのが対等な関係です。相手が怖くて嫌だと言えない、言ってもやめてくれないのであれば、それは対等な関係とはいえません。「好きだから断れない」ではなく、好きだからこそわかかってほしい気持ちを言葉にして、伝えあうことが大切です。



With You さいたま から

私たちがいちばん伝えたいこと。それは「自分で自分を大切にしてほしい」ということです。人は自分を大切にできて初めて、他の誰かも大切にできます。デートDVは、「ひとりで」「自分たちだけで」解決することがとても難しいものです。もし、自分がデートDVの被害者かもしれないと感じたら、反対に大切な人を傷つけていると気づいたら、少しでも早く、信頼できる人に相談するか、相談窓口ご連絡してください。友だちなど周りの人が交際相手との関係に悩んでいると感じたら、話を聞いてみてください。あなたの言葉がその人の支えになるかもしれません。相談できる窓口があることも教えてあげてください。

交際相手はあなたのものではない。あなたの思い通りにしてはいけない。どんな理由があっても暴力は絶対だめ。もし、あなたが被害者だったら、自分を責めないで。あなたは悪くない。

相手に「女らしさ」「男らしさ」を期待している。

「男だからリードする」「女の子はおとなしく従うもの」と思っていませんか?固定的な観念にとらわれ、社会的な役割や態度を決めつけてしまえば、自分らしさを抑え込むこととなります。

「自分の彼女(彼氏)なのだから、相手を思いどおりにできると思っている。」

「つきあっているのだからセックスするのは当たり前」「嫌われないから我慢する」、それが愛情だと思込みがちです。でも、交際相手はあなたの所有物ではありません。

自分の思いどおりにするには「暴力」が最善の方法だと思っている。

どんな理由があっても暴力を受けていい人はいません。暴力は決して許される行為ではなく、ふるう方が悪いのです。



これらに共通しているのは、いずれも「人と人との関係が対等ではなく、上下(支配)関係に陥っている状態」です。

「やめて」と言うと嫌われそうで怖かった。どうしたらいいのかわからなかったが、相談機関があるんだとわかった。

「知っていますか?デートDV」を受講した学生・教員の感想

- デートDVが身近なものであるということがわかった。
- もし友達からデートDVの相談があったら、否定しないで聴いて、相談機関に相談することを伝えようと思う。
- DVという言葉は知っていたけど、デートDVや男性の被害者がいることを知らなかった。
- デートDVを知ることによって被害に遭わないように気を付けることができるんだ。
- 相手の考えを尊重して謝ることができるのが喧嘩。一方的に押し付けるのがDV。
- 女子同士の友人関係間でも、自分以外の友達と仲良くしてほしい、などがある。暴力になることを理解してくれたらいいと思う。

デートDV防止講座「知っていますか? デートDV」受講のお問合せはこちらまで

<https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/support/study/index.html>



相談窓口 匿名で、性別問わず、どなたでも無料で相談ができます。身の危険を感じた場合や、緊急の場合は警察へ(110番)

【DVお悩みチャット@埼玉】

受付時間 日・水・金/15:00~20:30 (12/29~1/3除く)
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0309/dv-soudan/dv_soudan_web_chat.html



【埼玉県婦人相談センター】

TEL 048-863-6060
受付時間 月~土 / 9:30~20:30
日・祝 / 9:30~17:00 (12/29~1/3除く)

【With You さいたま】

TEL 048-600-3800

受付時間 月~土 / 10:00~20:30 (祝日、第3木曜日、12/29~1/3を除く)

インターネット相談(24時間受付)
<https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/counsel/guide.html>

